

日本天文学会早川幸男基金渡航報告書

2012年06月10日採択

申請者氏名	亀崎達矢 (会員番号 5504)
連絡先住所	〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-35 鹿児島大学内
所属機関	鹿児島大学 理工学研究科 宇宙物理学研究室
職あるいは学年	D1
任期 (再任昇格条件)	
渡航目的	研究集会での口頭発表とポスター発表 (確定)
講演・観測・研究題目	VLBI Astrometry of Semi-regular Variable Star RX Bootis, VLBI observations and NH3 Mapping of Star Forming Region NGC2264
渡航先 (期間)	中国 (2012年8月19日～9月1日)

私は、国際天文学連合 (IAU) の総会とそれとともなって開催されるシンポジウムに参加しました。2つのシンポジウム (IAU Symposium 289: "Advancing the Physics of Cosmic Distances" と IAU Symposium 292, "Molecular Gas, Dust, and Star Formation in Galaxies") に参加しました。世界最大級のシンポジウムでどちらのシンポジウムも世界から有名な方々が多数参加されていました。今まで文献の中でしか、名前を知らなかった方々と接することができました。今回の参加目的は、IAUS (IAU Symposium) 289 での口頭発表 (VLBI Astrometry of Semi-regular Variable Star RX Bootis) と IAUS (IAU Symposium) 292 でのポスター発表です。

私が海外で発表するのは今回が初めてで、英語での会話や発表でとても緊張していました。ポスター発表はとても大きな会場で行われ、たくさんのポスターが掲示されていました。その中の一枚だったのですが、なるべくわかりやすく伝わりやすいものを作成し、何人かの人に説明もしました。口頭発表は、海外で発表する初めての英語 (日本語以外) での発表で、とても緊張していました。発表の最初に「This is my first presentation outside Japan.」といったのおぼえています。これを言ったためかどうかわかりませんが質問はとても優しいものでした。発表中は緊張していたので一生懸命しゃべることだけ (止まらないようにすることだけ) を考えて喋りました。質問をしていただけたので内容は伝わったのだと考えています。指導教官や座長に良い発表だったと言っていただけたので、これからはもっとうまく喋れるように努力していきたいと思います。

今回は海外での研究会に参加することで英語をたくさん聞くことができました。日本にいるときはそれほど英語に慣れていなかったのですが、今回の研究会で英語になれることを目標に多くの発表や会話をしました。2週間も海外にいたことができたので、発表ははじめはよくわかっていなかったのですが最終日には発表内容を理解するところまでいけたと思います。これからもこのような機会があれば多くの海外での研究会に参加し、英語の聞き取りや発表を上手にできるようになりたいと思います。

最後になりましたが、渡航を援助して頂きました日本天文学会、早川基金関係者の皆様

にあらためて感謝いたします。ありがとうございました。